

2024年(令和6年)2月1日



さがみはら市議会だより

No.224

編集・発行：相模原市議会 電話 042 (769) 9803
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/>

※無断転載・転用は
お断りします。



市議会を、あなたの身近に。

～議会改革の取組として、議場コンサートを開催しました～

TOPICS



主な議案の概要
【特集】議会改革の取組として
議場コンサートを開催 2



代表質問
7会派により行われた代表質問・個人質疑と
市の答弁を分かりやすく紹介 3



一般質問
市政全般に対して行われた質問と市の答弁を
分かりやすく紹介 4
5
6



委員会の審査
主な議案の審議結果
市議会紹介ポスターデザイン決定 7



常任委員会活動レポート
ハラスメント防止研修を実施 8

12月定例会議

南市民ホールの廃止に関する条例や さがみはらみんなの暮らし応援 パッケージに関する補正予算など 53件の議案を可決・同意



12月定例会議では、令和8年3月31日をもって相模原南市民ホールが廃止されることに伴う条例改正として、「市立市民会館条例の一部を改正する条例」が提出され、本会議や市民環境経済委員会で、当該施設が担ってきた役割や市民との対話の結果を踏まえた今後の対応等について質疑等がなされました。

また、エネルギーや食料品等の価格高騰の影響を受けている事業者や市民を支援するため、小学校等の学校給食費の3か月間無償化や、75歳以上の高齢者への商品券の配付、スマートフォン決済を活用したポイント還元等を行う「さがみはらみんなの暮らし応援パッケージ」等に関する補正予算が提出され、関係する常任委員会で質疑等がなされました。

そのほか、議員提出議案として、市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例等2件が提出されました。



その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

3月定例会議のお知らせ

3月定例会議の予定は、次のとおりです。

本会議・委員会は、午前9時30分から開会する予定です。

また、予算特別委員会の各分科会は、それぞれ同日の委員会終了後に開会する予定です。ただし、各委員会の審査の状況により、翌日以降の開会となる場合があります。

2月 6日(火)	議会運営委員会
13日(火)	本会議(提案説明)
21日(水)	本会議(代表質問・個人質疑)
22日(木)	本会議(代表質問・個人質疑) <本会議終了後> 予算特別委員会 総務委員会
27日(火)	予算特別委員会総務分科会
28日(水)	こども文教委員会 予算特別委員会こども文教分科会
29日(木)	民生委員会 予算特別委員会民生分科会

3月 1日(金)	建設委員会 予算特別委員会建設分科会
4日(月)	市民環境経済委員会 予算特別委員会市民環境経済分科会
13日(水)	本会議(一般質問)
14日(木)	本会議(一般質問)
15日(金)	本会議(一般質問) <本会議終了後> 予算特別委員会
19日(火)	本会議(委員長報告、採決) <本会議終了後> 議会運営委員会

3月定例会議
紹介ポスターデザイン

見てみる?未来のさがみはら

令和6年3月定例会議
相模原市議会
2月13日(水)～3月19日(火)
<https://www.sagamihara-shigikai.jp/>

制作協力
女子美術大学 デザインルーム

相模原市議会の詳しい情報は

市議会ホームページ・フェイスブック・インスタグラムでもご覧になれます。本会議・委員会のインターネット放映をご覧になったり、会議録が検索できます。ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/> 相模原市議会



「いいね!」してね!!

「フォロー」してね!!

12月定例会議

主な議案の概要

職員定数条例の一部改正

令和6年4月からの部局別職員定数の変更

新たな行政課題に的確に対応し、効果的な行政運営を推進するため、職員の定数に係る規定の改正を行う。

市立市民会館条例の一部改正

相模原南市民ホールの廃止に伴う改正

令和8年3月31日をもって相模原南市民ホールを廃止するため、当該施設に係る規定の削除及び指定管理者の指定の特例に係る規定の追加を行う。

指定管理者の指定

市営住宅の次期指定管理者の指定

指定管理者：さがみはら市営住宅窓口センター
指定期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

令和5年度一般会計補正予算(第7号)
補正額：53億7,200万円

学校給食センター用地購入事業 1億4,534万円

中学校給食の全員喫食実現のため、(仮称)北部学校給食センターの用地として、神奈川県が所有する県立相模原総合高等学校跡地の取得を行う。

令和5年度一般会計補正予算(第8号)
補正額：77億5,500万円

高齢者生活応援商品券事業 6億6,890万円

物価高騰の影響を受けている75歳以上の高齢者の生活を支援するため、商品券の配付を行う。

物価高騰対応経済対策事業 7億9,079万円

物価高騰の影響を受けている事業者や市民を支援するため、消費喚起策として、スマートフォン決済を利用したポイント還元事業を行う。

その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。



議会改革の取組として、議場コンサートを開催しました!

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行されたことに伴い、6月定例会議から傍聴席数の制限を解除しました。そこで、議会改革の取組の一つとして、市民の皆さんが気軽に本会議を傍聴するきっかけになるよう、12月定例会議の期間中の本会議開始前に、初めて「議場コンサート」を開催しました。午前9時という早い時間にも関わらず、議場まで足を運んでいただき、コンサートを楽しまれた後、普段より多くの方に本会議を傍聴いただくことができました。



11月28日(火)

演奏者 邦楽ユニット あさきゆめみしさん

オリジナル曲「SAGAMI」のほか、「里の秋」等を演奏していただきました。



和楽器の演奏によって、議場が華やかに彩られました。

あさきゆめみしさんより

私達と皆さんとの距離が近いので、どんなに大きなホールよりも緊張しました。議場は音の響きが思ったより良く、気持ちよく演奏できました。3人ともに相模原市在住であるため、今後も文化的な側面でも色々と発信をして、相模原市を盛り上げていけたらと思います。



11月29日(水)

演奏者 Luann(るあん)さん

「おおシャンゼリゼ」のほか、「ルーマニア民俗舞曲」等を演奏していただきました。



楽しい演奏に議場全体が一体感に包まれました!

Luannさんより

聴いていただく方にも、心の中で一緒に参加してもらうことを大切に、演奏をしています。相模原市にゆかりのあるグループとして、私達なりに地域を音楽で活性化することが目標です。音楽は、言葉を超えてつながりあえるものなので、様々なところに音楽を届けていきたいです。



傍聴いただいた方からの声(一部)

初めて議場に入りました。

また傍聴に来てみたいです。

議場が広くて驚きました!

興味はあったけれど、今まで議場に来る機会がありませんでした。

傍聴のきっかけづくりとして良いのではないのでしょうか。

2日間で「和」と「洋」の演奏の違いがあってよかったです。

気持ちが高揚しました。

市議会の仕組みについてもっと知りたいです。

ここで市議会が開催されているんですね。

演奏者を知ることができてよかったです。



ご出演いただいた、あさきゆめみしさん、Luannさん、お越しいただいた皆様、ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。相模原市議会では、これからも、市民に信頼される開かれた議会を目指し、議会改革を進めてまいります。

代表質問

7会派による代表質問・個人質疑の要点をピックアップしました。詳しい内容については、市議会ホームページや議会中継(録画)などをご覧ください。

〈11月28日〉
 須田 毅(自 民 党)
 関根雅吾郎(さがみらい)
 後田 博美(公 明 党)

〈11月29日〉
 大沢 洋子(立 民)
 田崎 明(日本維新の会)
 五十嵐千代(颯 爽)
 羽生田 学(日本共産党)



南市民ホール廃止の条例改正経緯や今後の文化活動等は

Q 南区合同庁舎の改修を待たずにホールを廃止する理由は。

市長 ホールを引き続き利用するためには、**特定天井(※1)**の改修に加え、老朽化している舞台機構や照明設備等の改修が必要であり、これらホール特有の設備等が故障して、市民の利用に支障を来す恐れがあることから、廃止することとした。

Q 利用団体等との対話の実施状況は。

市長 廃止に当たっては、これまでに市民説明会や意見交換会を実施するとともに、利用団体や地域への個別対話を延べ68回行ってきたほか、市内全域でオープンハウスを実施するなど、1年以上にわたり、様々な方法で市民と対話を重ねてきた。

Q 市民との対話の結果を踏まえた今後の取組は。

市長 市民の意見を踏まえ、相模女子大学グリーンホール(※2)の多目的ホールの音響改善や、他施設でも舞台装置の操作ができる場の確保、市内の大学や国の関係機関の施設の利用など、できる限り市民が文化活動を継続できるよう取り組んでいく。

Q どのような視点で南区合同庁舎の改修を検討していくのか。

市長 改修に当たっては、敷地全体を活用し、現状の行政機能や市民活動機能に限らず、必要な機能について、市民の意見を伺いながら検討していく。



南市民ホールが入る南区合同庁舎

持続可能な行財政運営の推進プラン(※3)第2期(案)での取組は

Q 都市基盤の整備等に必要な投資的経費の確保の考え方は。

市長 今後も持続可能な都市経営を行うためには、将来の都市力向上のための取組に加え、道路等の改善や施設の長寿命化事業の着実な推進等が必要であり、プランの取組を踏まえつつ、剰余金等の活用も含め、必要な投資的経費の確保に努める。

Q 障害者施策の見直しに着手することとした考え方は。

市長 市の総人口は今後減少に転じる一方で、障害のある方の人数は増加が見込まれている。共生社会の実現に向けた取組を後退させないため、従来の個別給付施策を福祉の基盤整備へと転換することが必要と考えている。

Q プランの取組を進めるに当たっての職員への意識付けは。

市長 取組を着実に進めるには、その目的や必要性を市民と共有し、理解と協力を得ることが大変重要と考えている。研修等を通して、プランに対する職員一人一人の理解の促進を図っていく。



プラン第2期(案)の説明があった全員協議会(令和5年11月17日開催)

職員定数条例の一部改正 改正の考え方と次期計画(※4)は

Q 職員定数を増員・減員する考え方等は。

市長 現行計画の数値目標を維持しながら新たな行政課題等に的確に対応するとの考えの下、学校給食調理業務の委託化に伴う退職者不補充等による減員を行う一方で、児童相談所や消防救急体制の強化等を図るための増員を行うものである。

Q 次期計画において、職員定数の数値目標を変更する考えは。

市長 重要施策の推進や法令等による配置基準に対応するための定数を確保するとともに、仕事と家庭の両立支援に努める必要等も踏まえ、令和6年度中の計画策定に向けて検討していく。



職員採用案内等

コンプライアンス推進や不登校対策 教育行政の課題への取組は

Q 学校現場等におけるコンプライアンス推進の取組が急務では。

教育長 教職員は児童・生徒の人格形成に深く関わっており、高い倫理観が求められることを改めて認識させていく。また、失った信頼を取り戻せるよう、コンプライアンス意識の更なる向上を図るとともに、風通しの良い職場づくりに取り組む。

Q 登校支援教室(※5)の継続や拡充に対する見解は。

教育長 現在、モデル校では、教室を週5日間開室して、通室する生徒へのきめ細かな支援に努めており、令和6年度以降も継続し、検証を行いながら、段階的な拡充を目指していきたい。

次期指定管理者の選考 結果の評価と今後の運営は

Q 今回、市外や新規の団体の指定が増加したことの評価は。

市長 複数団体からの応募が増えて競争性が向上し、指定管理者が変更となる9件中5件が市外団体となった。前回よりも多くの提案の中から選考できたため、令和6年度以降も市民サービスが低下することなく、より良好な管理運営が図られるものと考えている。

Q 指定管理者が変更となる施設職員の雇用継続への配慮は。

市長 継続的な雇用を確保するため、募集要項や議決後に締結する協定書において、現在の指定管理者の職員のうち、希望する者の雇用について配慮を求めており、対応を注視していく。

- 用語解説**
- ※1 特定天井
人が日常立ち入る場所に設置してある吊り天井で、6mを超える高さにある等の特定の条件に該当するもの
 - ※2 相模女子大学グリーンホール
正式名称は「相模原市文化会館」で、ネーミングライツにより平成25年4月1日から当該愛称を使用している。
 - ※3 プラン
相模原市行財政構造改革プランのことで、令和5年11月に示した第2期案(令和6年度～9年度)では、持続可能な行財政基盤の構築に向けた抜本的な改革項目などを定めている。
 - ※4 計画
相模原市職員定数管理計画のことで、現行計画の期間は令和4年度から6年度である。当該計画により、職員定数の適正管理に取り組むとともに、簡素で効率的な行政運営に努めている。
 - ※5 登校支援教室
不登校児童生徒の学びの場を学校内に設けるもので、現在、市内の中学校3校をモデル校として実施している。



はぎ う だ やす はる
萩生田 康治
(自民党)



Q 国産生成AIを幅広い業務へ将来の活用に向けた考えは

市長 国産生成AIの実用化に向けたNECとの共同検証を着実に進め、業務の効率化を図ることで、他の技術との組合せも含め、事務全般で様々な利用に繋がるよう取組を進めていく。

Q 短期集中予防サービス(※)の利用現状と充実に向けた取組は

市長 令和4年度は36人、本年度は約200人にサービスを実施して効果を検証しており、今後は原則として「要支援」等の全ての新規認定者が利用できるよう、体制の整備を進めている。

その他の質問 湘野駅南口周辺のまちづくりなど

※短期集中予防サービス(高齢者筋力向上トレーニング) 日常生活機能を維持・改善することで、社会参加の推進と介護予防を目的に、健康運動指導士等が3か月の短期間で集中的に実施するサービス。運動や認知機能講座、体操等を行う。



たに がわ
谷川 ヒロシ
(さがみらい)



Q 地域への防犯カメラの設置これまでの支援状況と効果は

市長 平成28年度から令和4年度までに109団体に362台の設置費を補助している。カメラの存在が認知され犯罪抑止の効果が上がる等、安全・安心なまちづくりに寄与するものと考えている。

Q 障害児者の移動支援体制課題の認識と今後の対応は

市長 国のガイドヘルプサービス事業(※)は、原則、通学や通所時等の利用は対象外であるため、今後、本市独自の取組として、18歳未満の方が通学時に利用できるよう、検討を進めていきたい。

その他の質問 市長が掲げる政策の実現など

※ガイドヘルプサービス事業 障害者総合支援法に基づく事業で、屋外での移動が困難な障害のある方に外出の支援を行うもの。社会生活上必要不可欠な外出や社会参加等のための外出が支援の対象となる。



市営住宅の上九沢団地

※1計画 「相模原市市営住宅ストック総合活用兼長寿命化計画」のことで、市営住宅の今後の在り方や長寿命化に関する考え方をまとめ、具体的な施策や事業手法を示している。
※相談支援包括化推進員 市民が抱える複合化・複雑化する課題に対して、分野横断的で包括的な相談支援を推進するため、相談窓口のある職場等に設置し、職員の意識向上と情報共有、組織間の連携を担う。



おか もと こう そう
岡本 浩三
(公明党)



Q バリアフリー等で高齢者に安心を市営住宅における環境整備は

市長 計画(※1)では、各住戸の状況を踏まえ、段差解消や浴室、トイレ等への手すりの設置などを位置付けており、高齢者向け住戸から優先的に改修工事を行うこととしている。

Q 複雑化する相談内容への対応関連する分野のCWの連携は

市長 複合・複雑化する課題への対応には関連分野との連携が不可欠なため、令和5年1月に推進員(※)を配置し体制強化を図り、包括的支援に対する意識醸成等の全庁的な取組を進めている。

その他の質問 文化部活動への補助など

12月定例会

質

市政全般にわポイント

議案以外に関する一般質問



さくら い
桜井 はるな
(立民)



Q 各種情報を結ぶマイナンバーカード制度不安等による返納件数は

市長 本年度の本市の返納届出件数は、11月末時点において779件で、このうち、制度不安等を理由とした自主返納は63件である。

Q 相模大野ステーションピアノ事業4回目となる今回の変更点は

市長 事業の魅力を高め、より多くの方に楽しんでもらうため、ピアノ演奏を含む3人までの合奏を可能にするとともに、時間割を工夫し、1日当たりの演奏枠を24枠から26枠に拡大した。

その他の質問 本市の基地対策/動物愛護管理行政など



数石住居跡がある国指定史跡 川尻石器時代遺跡

※2計画 令和4年3月策定の「第2次相模原市新道路整備計画」のことで、主要な道路整備事業の計画的な執行等を目的として、令和13年までの10年間を見据えた整備に取り組む。



Q 橋本駅周辺のイノベーション事業(※)実施の具体的な内容や効果は

市長 市内外の企業等の交流や企業誘致等に取り組むことにより、先進技術の研究等が進み、ロボット産業の振興に加え、新たな価値や事業が橋本駅周辺から生まれていくと考えている。

Q 津久井総合事務所周辺再整備基本計画策定に向けた検討は

市長 基本構想(※)を踏まえて必要な行政機能等を検討しており、今後、民間活力導入可能性調査等を実施する。外部検討組織にも意見を伺い、令和6年度末までに基本計画としてまとめていく。

その他の質問 本市の鳥獣被害対策など



あき もと じん
秋本 仁
(自民党)



※イノベーション創出促進事業 本市の公募にJR東海が応募して選定され、拠点を運営する事業。このほか、さがみロボット産業特区での創出促進を目的とした連携協定を県・JR東海・市の3者で締結している。
※基本構想 「津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本構想」のことで、「津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本方針」に基づき、総合事務所を核とした公共施設の設置場所や機能等を定めている。



こばやし
小林 たかみち
(無所属)



Q 国指定史跡 川尻石器時代遺跡保存と活用に向けた取組は

教育長 令和7年度を目途に作成を進めている市文化財保存活用地域計画の中で、当該遺跡も含め、市域の歴史文化の特徴や文化財の現状、課題を整理しながら、保存活用を検討していく。

Q 計画(※2)で優先整備対象外の路線今後の取扱いの方向性は

市長 令和8年度の間見直しにおいて、計画の進捗状況を鑑みながら、事業の有効性や実現性を再評価する。今後も、更なる選択と集中による効率的かつ効果的な道路整備を進めていく。

その他の質問 相模原市コミュニティバス「せせらぎ号」など



いま みや
今宮 ゆうき
(日本共産党)



Q 小規模保育事業所への市補助対象となる保育士の拡大を

市長 小規模保育事業所は、職員が保育士限定となるA型と職員の半数まで保育士以外でも可能となるB型があり、より保育人材の確保が必要なA型に、市独自の助成を行っている。

Q 需要がある送迎保育ステーション(※)本市で事業を実施する考えは

市長 保育需要の高い地区では待機児童対策となる一方、利便性が高い駅周辺における児童の待機場所や安全な乗降場所の確保、長時間の乗車への負担感など、課題も多いと認識している。

その他の質問 相模原市行財政構造改革プラン(第2期)(案)など

※送迎保育ステーション 駅周辺等に施設を設置して、保育所等への登園前の時間と降園後の保護者が迎えに来るまでの時間、児童を一時的に預かる事業で、日中に在籍する保育施設への送迎も行う。



さとう ひさし
佐藤 尚史
(自民党)



Q J-クレジット制度(※)のモデル事業と鳥屋財産区での取組状況は

市長 CO2の森林吸収見込量等を算定した計画書を作成し、国に登録申請した。正式登録後、現地での樹高等の計測を経て、令和6年度中には初年度分のクレジットが認証される見込みである。

Q 撮影等で活用される市の施設収入増に向けた料金見直しは

市長 営利目的の撮影に係る使用料等の見直しについては、歳入確保に一定の効果が見込まれることから、シティプロモーションへの効果も含め、検討していく。

その他の質問 タクシーによる中山間地域の移動手段の確保など

※J-クレジット制度 国が運営する温暖化対策の制度で、事業者の森林整備等の取組によるCO2削減量について、環境価値をクレジットとして認証し、削減量を必要とする事業者との売買を可能にするもの



まつうら ちづこ
松浦 千鶴子
(さがみらい)



Q 「くるみん認定」(*)の取得
市内認定企業を増やす取組は

市長 本年度から、認定取得に必要な行動計画を策定する企業への専門家の派遣や、計画の目標達成に向けた取組に要する経費の一部補助により、取得を目指す企業を支援している。

Q 特別教室や体育館の空調設備
設置状況や今後の整備検討は

教育長 特別教室への設置率は本年度末で58%の見込みで、屋内運動場は6校に設置している。近年の気象状況を踏まえ、設置は喫緊の課題と捉えており、効率的な整備手法等を検討している。

その他の質問 不登校児童生徒の居場所など

※くるみん認定 仕事と子育ての両立に向けた職場環境の整備に取り組む企業が、一定の要件を満たした場合に、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受けることができる制度のこと。



わた べ とし あき
渡部 俊明
(自民党)



Q こどもの居場所づくり
既存児童館等の柔軟な活用は

市長 こどもの居場所を確保するため、既存の施設を活用することは有効であると考えており、引き続き、それぞれの施設に対応した活用方法も含め、取り組んでいく。

Q 障害児者の移動手段確保へ
通学通所の通年支援の実施は

市長 今後、18歳未満の方が通学時に利用できる本市独自の取組を検討していきたい。通所時の支援は人材確保等が課題であり、関係者から意見を伺い、課題解決に向けて検討していきたい。

その他の質問 こども施策の基本方針/フードドライブなど



なん ば ひで き
南波 秀樹
(公明党)



Q 医療的ケア児等の一時的受入れ
事業所の拡充に向けた取組は

市長 受入れ事業所の整備促進や、市単加算の設定等に取り組んでいる。引き続き、医療的ケア児等とその保護者が安心して地域で暮らせるよう、支援の充実に努めていく。

Q ヒアリングフレイル(*)予防への取組
広く市民に周知を行う考えは

市長 本人とともに周囲の理解も必要なため、難聴の基礎知識等をまとめたパンフレットを作成し、相談窓口等で配布している。今後も、関係機関の協力を得ながら取組を進めていきたい。

その他の質問 健康保持増進に向けたデータヘルスの推進など



県立相模原公園のドッグラン



に し な み
仁科 なつ美
(立 民)



Q 学校給食食材業者の負担減へ
契約事務の見直しの検討は

教育長 現在は、価格変動の大きい青果から小さい調味料まで、契約方法を統一している。青果事業者から2か月前の見積書提出について改善要望があり、今後、依頼の時期や方法を検討していく。

Q 市内の公園へのドッグラン整備
魅力向上等に寄与するのでは

市長 人と犬が安全で快適に過ごせる貴重なオープンスペースであり、魅力ある公園づくりの一助となることから、先行自治体の取組等も参考に、管理運営方法等も含め、整備に向けた検討を行っていく。

その他の質問 住みたい街、住み続けたい街、になるためになど



市営峰山霊園

※コンセプト 「多様な交流が新たな価値をうみだすライフメイノベーションシティ」として令和2年5月に策定された、相模原駅北口地区のまちづくりコンセプトのこと。



い わ い だい
岩井 大
(日本維新の会)



Q 塗装の劣化が進む三井大橋
維持管理や今後の修繕予定は

市長 本年度、市の橋りょう長寿命化修繕計画に基づく5年に1回の定期点検を実施しており、点検終了後の診断結果に基づき、塗装などの修繕の可否について判断していく。

Q 全国で増加するクマの出没
本市における状況と対策は

市長 本年度のツキノワグマの目撃情報は12月18日現在47件、錯誤捕獲(*)は6件発生している。県や警察と連携したパトロールや学習放獣(*)を前提とした捕獲等、状況に応じた対策を行っている。

その他の質問 消防力の強化/北朝鮮による人権侵害問題など

※錯誤捕獲 捕獲対象以外の鳥獣が誤って捕獲されること。
※学習放獣 里山等に出没し捕獲されたクマに、人が怖いこと等を学習させて人里から離れた山奥に放つこと。



て ら だ ひろ こ
寺田 弘子
(自民党)



Q 相模原駅北口地区まちづくり
「国際化」の視点も必要では

市長 コンセプト(*)を基にまちづくりを進める上では、多様な人や企業が交流するほか、グローバル人材の育成など国際化の視点も入れて、引き続き、特色あるまちづくりを検討していく。

Q 墓に対する市民意識の変化
市民アンケート調査の結果は

市長 令和4年度の調査では、合葬式墓所(*)を希望する方の割合は、平成25年度の5.3%から33.9%に増加した一方で、一般墓所を希望する方の割合は、平成25年度の52%から23%に減少した。

その他の質問 誰もが自分らしく生きる「地域共生社会」を目指してなど

※合葬式墓所 墓所の承継に不安のある方などのため、一つの施設の中に多数のお骨を一緒に埋蔵する形式の墓所のこと。



やま ぐち ひさし
山口 恒
(さがみらい)



Q 次期最終処分場(*)の候補地選定
整備に係る市民周知の取組は

市長 候補地周辺地域のまちづくり会議等での周知や施設見学会のほか、広報さがみはら特集記事の掲載やラジオ番組内でのごみ分別の呼び掛けなど、積極的な市民周知に取り組んでいる。

Q こんにちは赤ちゃん事業
事業の実績や市民からの声は

市長 生後4か月までの乳児がいる家庭へ保健師等が訪問し、発育相談等に応じている。令和4年度は4,006件、94.9%の実施率で、専門職に相談ができて良かった等の意見を頂いている。

その他の質問 市営斎場/麻溝台・新磯野地区整備推進事業など

※最終処分場 ごみを埋め立てる一般廃棄物最終処分場のことで、現在稼働中の第2期整備地の埋め立てが令和19年度に終了するため、次期最終処分場の候補地等の検討を進めている。



は せ が わ く み こ
長谷川 くみ子
(颯 爽)



Q パートナーシップ宣誓制度
実績や制度拡充の検討状況は

市長 宣誓累計数は令和5年11月末現在38件で、川崎市や横浜市と提携し、転出入時の宣誓手続きを簡略化している。宣誓者の子や親への対象拡大等は、先行自治体の影響等を調査研究していく。

Q 相模原市人権条例(案)(*)
骨子で示した前文の再検討は

市長 令和5年12月1日から令和6年1月9日までの期間にパブリックコメントを実施しており、その結果などを踏まえて検討していく。

その他の質問 いじめ重大事態事案など

※相模原市人権条例(案) 相模原市人権尊重のまちづくり条例(案)のこと。

議

般
問

たる、一般質問の
抜き出しました。

の市政全般
質問を
と言うんだよ。

各議員の
氏名の下から
一般質問の録画
映像にアクセス
できます。

一般質問

12月定例会議



Q 小学校で学ぶ防火教育
ファイヤースクール(※)に対する認識は

市長 自らの安全を守る能力を幼少期から育成していくことは、防災意識の高揚に大変重要なため、本市の特色ある事業として継続的に実施していくとともに、内容の充実に努めていく。

あべ よしひろ
阿部 善博
(自民党)

Q Amazonとの災害時の連携
覚書の具体的な内容や特色は

市長 災害時に同社保有の備蓄品等の提供を無償で受けられること、他自治体への提供を要請できること、同社社員と市職員によるプロジェクトチームを立ち上げることが特徴となっている。

その他の質問 本市のまちづくり/子どもの歯と健康を守る取組など

※ファイヤースクール 火事や地震等があった時の正しい行動を学ぶ防火教育プログラムとして、市内全ての小学3、4年生を対象に、消防士が実際に小学校へ行き、授業を行っている。



ファイヤースクールの様子



にしや かつみ
西家 克己
(公明党)

Q 家具等のリユース促進の取組
フリマアプリ(※)の本格的な活用は

市長 市HPでジモティー(※)の案内開始以降、市内からの出品数が増加したと報告を受けていることから、今後、アプリの活用を含め、リユース促進に向けた取組を検討していく。

Q シティプロモーションの推進
ご当地ナンバープレートの導入は

市長 原動機付自転車へのプレートの導入はシビックプライド醸成や本市の認知度向上に効果的なため、市制施行70周年記念事業の一つとして、令和6年度中の交付に向け検討を進めている。

その他の質問 災害に強さがみはらを目指して/新たな交通政策など

※フリマアプリ スマートフォン等の端末向けのアプリケーションソフトで、フリーマーケットのように、個人間で商品を売買するためのサービスを提供する。

※ジモティー 株式会社ジモティーが運営する地域情報サイトのことで、地域での不用品等の譲渡などを行っている。



たかひろ
こさわ 隆宏
(日本維新の会)

Q 駅周辺での自転車の駐輪環境
矢部・相模原駅の整備状況は

市長 矢部駅南口については、令和6年度の路上自転車駐車場設置に向けて、交通管理者と協議している。相模原駅南口自転車駐車場1階のラック14台の修繕については、本年度中に行う。

Q 商店街所有の街路灯
適正な管理への更なる支援は

市長 賑わい創出や利便性向上を目的に、電気料をはじめ、修繕や撤去の際に補助金を交付し支援している。維持管理は、所有者である商店街が放置せず、適切に行う必要があると考えている。

その他の質問 地域活性化事業/相談指導教室など



かとう あきのり
加藤 明徳
(公明党)

Q 急傾斜地崩壊危険区域
指定相当地域の把握と対策は

市長 崩壊危険区域以外で危険性の高い斜面地は、土砂災害警戒区域等に指定されており、崩壊危険区域への指定や崩壊防止対策工事の推進が図られるよう、引き続き県に要望していく。

Q 学校給食の豚肉産地偽装問題
市への影響と検査体制整備は

教育長 給食センター等に納入されていたことを確認した。安全面に問題はなく健康への影響の報告はないが、給食の信頼を揺るがす悪質事案であり、今後、産地判別検査等を実施していく。

その他の質問 生産緑地対策/老人福祉施設・障がい者福祉施設など



すずき しゅうせい
鈴木 秀成
(さがみみらい)

Q 東林間入口交差点の渋滞対策
右折矢印信号の設置の見解は

市長 信号の設置には右折レーンが必要だが、道路幅が困難である。直進車両を通りやすくするため、右折待ち車両を交差点内へ誘導する路面への標示を、国道を管理する国へ要望していく。

Q 通学路ではない横断歩道橋
今後は廃止を考えるべきでは

市長 老朽化に関わらず、通学路になっていない箇所等も、維持管理費用の縮減等の観点から廃止を検討する必要があり、今後は、国の考え方も踏まえ、次期計画(※)策定の中で検討していく。

その他の質問 相模原市外郭団体改革推進計画の改定/自転車駐車場など

※相模原市橋りょう長寿命化修繕計画 予防保全的な管理手法を取り入れ、効率的・効果的な維持管理を行い、維持管理費用の縮減や地域道路網の安全性・信頼性の確保を目的としており、横断歩道橋も対象としている。



右折車両が多い東林間入口交差点



なかむら まさはる
中村 昌治
(自民党)

Q 災害時には長期の広域停電も
本市の停電想定と対策は

市長 国からは想定が報告(※)されており、本市では停電に備え、避難所等への非常用発電設備の整備等や、電力会社との協定締結により、早期復旧に向けた協力体制の構築に努めている。

Q 旧市域の交通不便地域解消へ
乗合タクシーの対象地域拡大は

市長 旧市域でも身近な移動に困難さを抱える市民が増加傾向にあるため、相模台地区における有効性を検証する実証実験に向け、住民や交通事業者と意見を交換し、検討を進めている。

その他の質問 新たな農業への支援など

※報告 国の中央防災会議によると、1都3県の電力供給は、震度6弱以上の首都直下地震発生直後から5割程度となり、停電がほとんど解消するには1か月程度を要すると報告されている。

詳しい内容については、市議会ホームページや議会中継(録画)をご覧ください。



各議員の氏名の下から一般質問の録画映像にアクセスできます。

陳情の審議結果

不採択

- ▷核兵器廃絶に関することについて(第19号)
- ▷国に私学助成の拡充を求めることについて(第20号)
- ▷神奈川県に私学助成の拡充を求めることについて(第21号)
- ▷南市民ホールの存続に関することについて(第22号~28号、第36号 合計8件)
- ▷安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求めることについて(第29号)
- ▷国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求めることについて(第30号)

撤回承認

- ▷相模原南市民ホールに関することについて(第33号)



詳しくは審議結果をご覧ください。

- ▷介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求めることについて(第31号)
- ▷日本国政府に対しイスラエルとハマスの両者に戦闘の即時・無条件停止を働きかけるように求める意見書の提出について(第32号)
- ▷女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求めることについて(第34号)
- ▷新型コロナウイルスワクチン接種券の送付の廃止とインフォームドコンセントの徹底に関することについて(第35号)
- ▷政党機関紙の庁舎内の勧誘・配達・集金の調査を求めることについて(第37号)

委員会の審査

上程された議案及び陳情は、所管の委員会に付託され、様々な視点から審査されました。主な条例等に関する質問事項は、次のとおりです。

総務委員会

職員定数条例の一部改正

- 各局からの定数要求とその査定の状況
- 部局別の職員定数の増減内訳と理由
- 職員定数の総数を見直さない理由
【賛成多数により可決】

民生委員会

令和5年度一般会計補正予算(第8号)所管部分 ※高齢者生活応援商品券事業に関して

- 現金ではなく商品券の配付とした理由
- 高齢者に分かりやすい周知方法
- 市内店舗を利用してもらうための取組
【賛成総員により可決】

市民環境経済委員会

令和5年度一般会計補正予算(第8号)所管部分 ※物価高騰対応経済対策事業に関して

- スマートフォン決済を利用したポイント還元事業の内容と実施スケジュール
- 3回目の実施に当たり、前回までの課題と改善した点
- 事業実施による経済効果の想定
【賛成総員により可決】

建設委員会

指定管理者の指定(市営住宅)

- 市営住宅の管理に指定管理者制度を活用している理由
- 選考の評価項目と各項目の配点を変更した理由
- 新しい指定管理者からの提案に対して評価した点
【賛成総員により可決】

こども文教委員会

令和5年度一般会計補正予算(第7号)所管部分 ※学校給食センター用地購入事業に関して

- 給食センター建設用地以外の土地も含めて購入することになった経緯
- 給食センター建設以外の具体的な土地利用策
- 地域住民との対話を行う時期
【賛成総員により可決】



令和5年第2回定例会 12月定例会議 主な議案の審議結果

議会内会派の構成 (議員の氏名は50音順、()内は略称)

凡例：○…賛成、×…反対 議案に対する反対討論が行われたものに☒を付記しています。

議案番号	議案	自民党	さがみみらい	公明党	立民	日本維新の会	颯爽	日本共産党	無所属	議決結果
市長提出議案										
第119号	職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
122号	市長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	☒	○	×	○	可決
126号	体育館に関する条例を廃止する等の条例	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
127号	市立市民会館条例の一部改正	○	○	○	○	○	☒	☒	○	可決
161号	指定管理者の指定(市営住宅)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
166号	令和5年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
170号	令和5年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案										
第10号	市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正	○	×	○	○	×	○	×	×	可決
11号	核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書	×	○	×	○	×	○	○	×	否決

自由民主党相模原市議団(自民党)	14人
秋本 仁 阿部 善博 大槻 和弘 大八木 聡 折笠 正治 佐藤 尚史 須田 毅 寺田 弘子 中村 昌治 西田 悠人 萩生田康治 古内 明 務川 慧 渡部 俊明	
民主みらい・無所属・地域政党さがみはら(さがみみらい)	9人
石川 達 榎本 揚助 鈴木 秀成 関根雅吾郎 谷川ヒロシ 松浦千鶴子 三須城太郎 森 繁之 山口 恒	
公明党相模原市議団(公明党)	8人
後田 博美 大崎 秀治 岡本 浩三 加藤 明德 中村 忠辰 南波 秀樹 西家 克己 保々富美子	
立憲民主党(立民)	5人
臼井 貴彦 大沢 洋子 栗原 大 桜井はるな 仁科なつ美	
日本維新の会相模原市議団(日本維新の会)	4人
岩井 大 こそわ隆宏 鈴木 晃地 田崎 明	
颯爽の会(颯爽)	3人
五十嵐千代 野元 好美 長谷川くみ子	
日本共産党相模原市議団(日本共産党)	2人
今宮ゆうき 羽生田 学	
会派に属していない議員(無所属)	1人
小林たかみち	

※12月定例会議のその他の議案45件は、全会一致で可決・同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

市議会紹介ポスターデザインが決定

相模原市議会では、市民の皆様には議会への関心を持っていただけるよう、ポスターを制作し、区役所、まちづくりセンター、公民館等の市内公共施設に掲出しています。

本年度も、女子美術大学の学生にデザイン制作を依頼し、市議会の各会派の議員で構成される広報委員による選考を経て、令和5年12月定例会議から令和6年9月定例会議まで、4定例会議分のデザインを決定しました。

学生によるプレゼンテーションの様子



「わかるあなたのまち」

令和5年12月定例会議

ふくいのみ 福井希実さん

「一緒に考える 相模原のまち」

令和6年3月定例会議

LOOK!

見てみる?未来のさがみはら

「みんなでつくる さがみはらのまち」

令和6年6月定例会議

せき かれん 関華蓮さん

「一緒に考える 相模原のまち」

令和6年9月定例会議

さがみはら市議会だより 録音版・点字版のご案内

活字のさがみはら市議会だよりを読むことが困難な方や視覚に障害のある方のために、録音版・点字版を発行しています。図書館や津久井地域のまちづくりセンター等に配架しているほか、希望される方には郵送をしています。ご希望の方は、政策調査課(042-769-9803)へご連絡ください。



SAGAMIHARA CITY COUNCIL

令和5年度常任委員会 活動レポート



常任委員会とは

議会で審議する議案を、いくつかの部門に分けて詳しく審査するのが「委員会」で、相模原市議会では常に5つの委員会(常任委員会)を設置しているんだよ。

今回は、次の3つの委員会の視察の様子を紹介するよ。

- 1 総務委員会
行政運営一般、シティプロモーション、財政、税金等の分野を審査
- 2 民生委員会
社会福祉、保健衛生等の分野を審査
- 3 市民環境経済委員会
市民生活、文化、区役所、産業、環境保全、公園、清掃等の分野を審査

総務委員会

シティプロモーションの取組等を視察

令和5年10月12・13日 兵庫県尼崎市、岐阜県各務原市

尼崎市では、まちの課題を解決するとともに魅力を増進するための取組「あまらぶ大作戦」等について、各務原市では、航空宇宙を活用した魅力発信の取組について、調査研究を行いました。

本市のシビックプライドを高める施策等の審査などを行うに当たって、参考にしていきます。



尼崎市の視察の様子



各務原市の視察の様子

民生委員会

動物愛護の取組やICTを活用した健康づくり等の取組を視察

令和5年10月11・12日 京都市、愛知県豊橋市

京都市では、府市共同で設置・運営する「京都動物愛護センター」における取組や、環境に配慮した当該施設の特徴等について、豊橋市では、ICTを活用した健康なまちづくり等、官民が連携して取り組む事業について、調査研究を行いました。

本市の動物愛護に関する施策や、健康促進に向けた施策等の審査などを行うに当たって、参考にしていきます。



京都動物愛護センターの視察の様子



豊橋市の視察の様子

市民環境経済委員会

リサイクル事業や企業誘致の取組等を視察

令和5年10月17・18日 仙台市、岩手県北上市

仙台市では、製品プラスチックの一括回収・リサイクル事業や、ペットボトルを原料化し、新たなペットボトルとしてリサイクルする事業等について、北上市では、企業誘致や工業振興事業に注力することとなった時代背景や地域特性について、調査研究を行いました。

本市の資源循環に係る施策や、産業振興の施策等の審査などを行うに当たって、参考にしていきます。



仙台市の製品プラスチック分別回収に係る啓発リーフレット



北上市の視察の様子

ハラスメント防止研修を実施

令和5年12月22日に、議員を対象とした「ハラスメント防止研修」を実施しました。

これは、令和3年度に議員提案により「相模原市議会基本条例」を改正したことや、国において「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が改正されたことなどを契機として、令和4年度に続いて実施したものです。

今回は、ハラスメント裁判における代理人活動を務めた実績のある高木亮二弁護士を講師にお招きして、ハラスメントに係る法整備の状況や裁判での争点などを、事例を交えながら分かりやすくお話しいただき、理解を深めました。

今後もハラスメントの根絶に向けて、市議会一丸となって取り組んでいきます。



研修の様子

写真を募集しています!

フォトギャラリーとしてさがみはら市議会だよりに掲載する写真を募集しています。次回掲載は第225号(令和6年5月1日発行)です。市内のお気に入りの風景等をご紹介ください。ご応募お待ちしております!

応募方法 Eメールか郵送で、住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を書いて、政策調査課(Eメール seisakuchousa@city.sagamihara.kanagawa.jp)へ(〒252-5277 中央区中央2-11-15 電話 042-769-9803)へ

【注意事項】

- 応募者本人が相模原市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないものに限ります。
- Eメールの場合、1通の容量は11MB以内で送ってください。
- 採用された方には連絡を差し上げます。なお、ご応募いただいた写真やデータ等は返却しません。
- 肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには相模原市議会は一切の責任を負いません。
- 掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、相模原市議会がホームページ等で使用することができるものとします。



さがみはらLOVE フォトギャラリー 「公園遊び楽しいぞ!」

(中央区弥栄 淵野辺公園で撮影)
中央区 加藤 翔子さん

市内には楽しい公園がいっぱいあって、まだまだ色々な公園へ遊びに行くぞ〜。家族仲良く思い出作りうね。

さがみはら市議会だよりは、新聞折り込みで各家庭に配布しているほか、市役所や区役所等の公共施設にも置いています。ご自宅への郵送をご希望の場合は、相模原市コールセンター(☎042-770-7777)までお申し込みください。

相模原市議会の詳しい情報はコチラから → 相模原市議会

検索

※この市議会だよりは15万8,600部作成し、1部当たりの単価は9.79円です。

また、古紙配合率70%以上再生紙を使用し、ユニバーサルデザインの視点を持って取り組んでいます。

「いいね!」してね!!

「フォロー」してね!!

